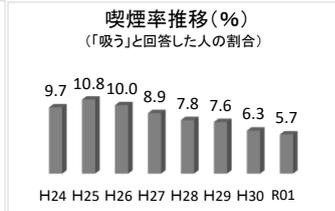
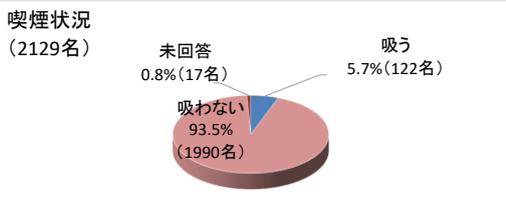
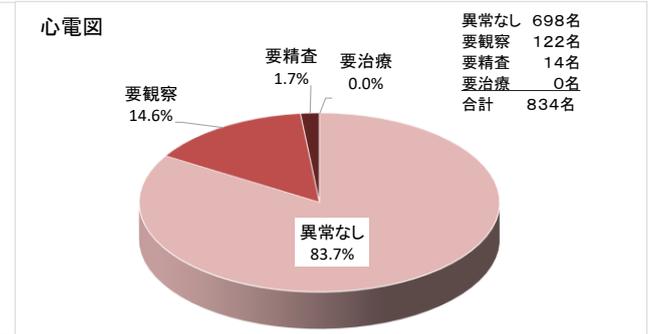
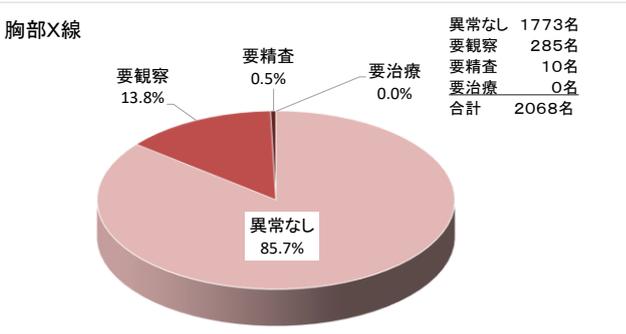
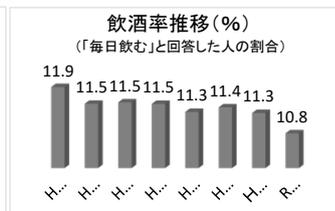
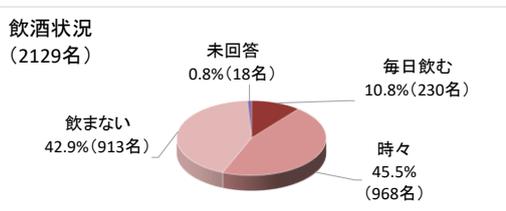


男性は脂質異常、肝機能障害ともに30代、40代が多い。働き盛りでストレスが多い年代であり、生活習慣の乱れがうかがわれる。貧血は男女差が大きく、女性の30代40代に多く、閉経期を迎える50歳代以上では性差がなくなる。貧血の原因となる疾患がないか注意が必要。男女ともに加齢とともに異常が増加している。精査以上の判定を受診行動に結びつけることが職員の健康増進のため重要である。



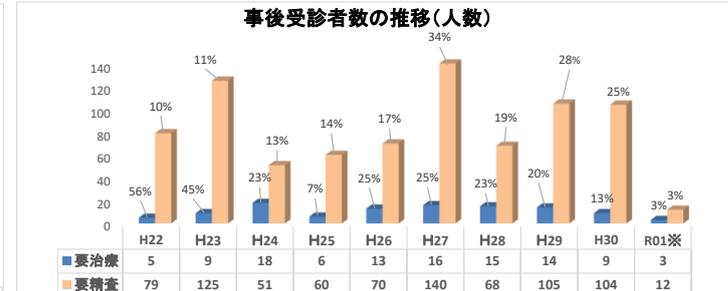
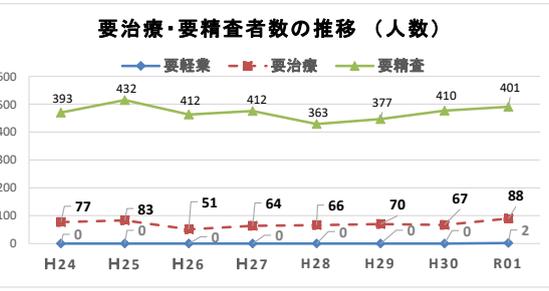
喫煙の状況※
(吸う人の割合)
男性 29.3%
女性 7.2%
総数 17.7%



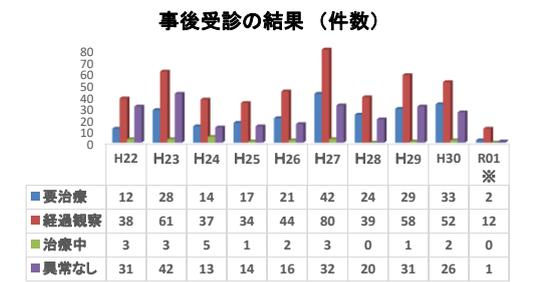
飲酒の頻度※
(毎日飲酒する人の割合)
男性 28.1%
女性 6.9%
総数 16.9%

※厚生労働省『平成29年国民健康・栄養調査報告』第3部生活習慣調査の結果、平成30年9月11日

事後受診について



※ 令和2年2月2日現在



事後報告の対象者(要軽業・要治療・要精査)は、491名で年々増加傾向しているのに対し、事後報告者数はあまり変化していない。事後受診の結果、経過観察が最も多かった。職員の健康の増進には事後受診率を上げ、治療につなげていくことが大切である。